

[速報版]

○委員長（加藤こうじさん） おはようございます。ただいまから、東京外郭環状道路調査対策特別委員会を開きます。

○委員長（加藤こうじさん） それでは、休憩を取りまして本日の流れを確認いたしたいと思います。

○委員長（加藤こうじさん） 休憩いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 委員会を再開いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 本日の流れにつきましては、１、行政報告、２、議会閉会中継続審査の申出について、３、次回委員会の日程について、４、その他ということで進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

それでは、そのように確認いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 市側が入室するまで休憩いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 行政報告、本件を議題といたします。

本件に対する市側の説明を求めます。

○都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局理事（池田啓起さん） お時間をいただき、ありがとうございます。都市再生部より、本日は１件、報告になります。外環事業に係る取組状況について御説明させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） それでは、次第の１、外環事業に係る取組状況について御説明いたします。

資料１を御覧ください。１、本線トンネル工事等の掘進状況（令和８年９月上旬時点）について御説明いたします。別紙１を御覧ください。こちら、本線トンネル工事の掘進状況について（全体概要）になります。図面の左側から、東名ジャンクションＡランプシールドマシンについては掘進中、Ｈランプシールドマシンは掘進を完了しております。また、東名ジャンクション地中拡幅工事については、現在地盤を防護するためのパイプルーフ、拡幅部の下側の掘削などを施工中になります。

その右、東名本線（北行き・南行き）シールドマシンについては、令和２年１０月１８日の陥没の発生により、現在掘進を停止しております。

次に、中央ジャンクションです。左側のＢランプシールドマシン、Ｆランプシールドマシンは、事業用地外を掘進中であり、Ｂランプ、Ｆランプともに三鷹市域を掘進中です。また、右側のＡ・Ｈランプシールドマシンは掘進を完了しております。

続きまして、大泉本線（北行き・南行き）についてです。オレンジ色の大泉本線（北行き）シールドマシンは約５.８キロメートルを掘進中、その右側の大泉本線（南行き）シールドマシンは、約４.６キロメートルの位置において、カッター部を駆動する大ギヤの補修ため、一時停止しております。図面の右側、大泉ジャンクションＦランプシールドマシンは掘進を完了しております。

２ページを御覧ください。こちら、本線トンネル工事の掘進状況について（詳細）（令和８年９月上旬時点）のものになります。こちらは、現在掘進中、または掘進を完了したシールドマシンについての現在位置等を記載しております。

２ページには、東名側本線シールドマシンと、大泉側本線シールドマシンを記載しております。

[速報版]

また、3 ページには、中央ジャンクション北側の A・H ランプシールドマシン、南側の B・F ランプシールドマシンを記載しております。

4 ページには、東名ジャンクション A・H ランプシールドマシンについて記載しておりますので、御確認いただければと思います。

続きまして、別紙 2 を御覧ください。こちら、中央ジャンクション（仮称）地域において、現在行われている工事の状況について（令和 8 年 9 月上旬時点）を御説明いたします。5 つの工事を記載しております。黄色の枠は、先ほど御説明した中央ジャンクション南側の B ランプシールドトンネル工事及び F ランプシールド工事になります。B ランプシールドトンネル工事については、令和 8 年 8 月 31 日付で、完了予定日を令和 8 年 9 月 15 日から、令和 9 年 4 月 28 日に変更しております。

紫の枠は、東京外かく環状道路中央ジャンクション南工事になります。連結路や南側換気所地下部等の躯体構築を行っております。

赤の枠は、東京外環道中央ジャンクション北側改良工事になります。この工事は、地下水流動の保全のための立て坑構築工事、横断管設置工事になります。現在は、掘削工事を行っております。

青の枠は、R 7 東京外環道中央ジャンクション北側換気所改良工事になります。この工事は、北側換気所構築に向けた土留め工事である地中連壁工、中間杭工になります。現在は、測量調査など、工事の準備を行っております。

資料 1 にお戻りください。3、工事説明会の開催についてです。(1)、説明概要です。事業者により中央ジャンクション（仮称）北側換気所工事に係る工事説明会が開催されました。説明会資料の抜粋ですが、参考資料 1 に記載しております。(2)、開催日時及び開催場所など、(3)、周知の方法については、それぞれ記載のとおりになります。(4)、主な質問・意見といたしましては、工事の概要、環境への配慮に関する事などについて御質問・御意見がありました。

続きまして、4、オープンハウス等の開催についてです。(1)、説明概要になります。事業者により、外環事業シールドトンネル工事の状況などに関する情報提供とともに、事業に係る意見交換及び現場視察が開催されました。オープンハウスで展示されたパネルを、抜粋ですが、参考資料 2 に記載しております。

(2)、開催日時及び開催場所などについては、ア、オープンハウス、イ、意見交換の場、ウ、現場視察会につきましては、それぞれ記載のとおりになります。

(3)、周知の方法は、ポスティング、「広報みたか」、国土交通省及び三鷹市のホームページに行いました。すみません、資料の裏面になっております。

(4)、主な質問・意見といたしましては、外環事業の概要に関する事、環境への影響に関する事などについて、御質問・御意見がありました。

続きまして、5、その他として、大泉側本線（南行き）シールドトンネルの大ギヤの損傷について御説明いたします。本件につきましては、7 月 28 日に情報提供させていただきましたが、今回は、参考資料 2 を用いて御説明させていただきます。参考資料 2 の 7 ページを御覧ください。まず、経緯としまして、令和 8 年 1 月 20 日にシールドマシンのカッター部を回転させる大ギヤ付近から異音が発生しました。令和 8 年 1 月 21 日に大ギヤの一部に変状が確認されたので、掘進を一部停止し、ファイバースコープにより点検及び開口部を設置して、大ギヤ付近を確認した結果、大ギヤと接続するベアリングに変状が確認されました。

[速報版]

ベアリングとは、大ギヤが回転する際の摩擦を低減し、回転を滑らかにする装置になります。今回は、開口部を増設して実施した詳細点検の結果、推定される損傷メカニズム及び今後の補修計画について、御報告いたします。

なお、掘進停止中においても、チャンバー内圧力をリアルタイムで管理し、また、地表面変位についても継続して計測を行っており、いずれも異常がないことを確認しております。

8ページを御覧ください。大ギヤの点検結果になります。目視点検の結果、比較的小規模な角欠けを23か所確認しました。確認された角欠けについては、機能に影響を及ぼすものではないため、補修対応として、表面の研磨を実施しております。

9ページを御覧ください。こちらは、ベアリングの詳細点検の結果になります。開口部を6か所設置の上、点検した結果、各ベアリングの全周にわたり変状が確認され、そのうち、コロと呼ばれる部材について大きな割れや欠け、横倒しとなる損傷、また保持器と呼ばれる部材は一部消失が確認されました。

10ページを御覧ください。損傷メカニズムの推定になります。損傷の原因は、2022年1月に大泉ジャンクション事業用地内で発生した同シールドマシン前面のカッターと、地中壁鋼材との接触が原因と推定されています。このときの接触により、ベアリングに設計を上回る荷重が作用したことで微細な欠けが生じ、その後の掘進に伴い、損傷が徐々に拡大した可能性があるとのことです。

11ページを御覧ください。こちら、損傷の原因である当時のシールドマシンと、地中壁との接触について御説明いたします。まず地中壁とは、大泉ジャンクション事業用地内において、本線トンネルとランプトンネルを接合する工事を行う際の止水を目的としており、本線トンネルが地中壁を貫通できるように、一部を切削可能な円形の硬質ウレタン製にしておりました。

12ページを御覧ください。シールドマシンは、切削可能な硬質ウレタン製部分を貫通する計画でしたが、地中壁の設置された位置が、設計値よりも下方、約90センチ、水平方向に約10センチ差異が生じておりまして、このためカッターと地中壁鋼材との接触が発生しました。

13ページを御覧ください。こちらは、今回のベアリング損傷についての補修計画になります。今後の対応といたしましては、新たなベアリング部材を製作し、点検時に設けた開口部を利用して交換作業を行うと聞いております。なお、補修作業については、現時点では未定とのことになります。

説明は以上になります。

○委員長（加藤こうじさん） ありがとうございました。

市側の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

○委員（吉田まさとしさん） おはようございます。よろしくお願いいたします。

工事説明会の内容についてお聞きしたいと思います。(4)の質問とか、意見とかが出たようなんですが、工期とか、工法なんかの説明書きはあるんですけども、実際この換気所の大きさについては、サイズ等が記載されていないので、御説明のあった部分をお聞きしたいと思うんですが、よろしくお願いいたします。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 資料といたしますと、参考資料1の3ページを御覧ください。こちらの右下に平面図というのがあるんですが、こちらを用いて御説明させていただ

[速報版]

きます。今回の工事内容といたしまして、主に土留め工事である地中連壁工と、中間杭工というのをやるようになっております。

まず、赤いほうが地中連壁工となっております。サイズ感といたしましては、この絵でいうと、縦が約40メートル、横が約70メートルとなっております。ソイルセメントというセメントと土砂を混ぜて、コンクリートの壁を造るようなイメージなのですが、それが深さ約50メートルぐらいのものを造ります。厚さは1メートルぐらいになります。まず、この縦40メートル、横70メートルの、そのようなコンクリートの壁に囲まれるようなものになります。

こちら側が地中連壁工というものになりまして、また、青色が中間杭工となります。こちらに関しては、文字どおりくいを打ち込むんですが、深さとしては、同じく約50メートルぐらい打ち込みます。くいの径といたしましては、大体50センチから1メートルぐらいになっております。打ち込む本数は93本でありまして、間隔は約6メートルで打ち込むと聞いております。

以上になります。

○委員（吉田まさとしさん） 細かくありがとうございました。それと、次の環境への影響というところで、振動と騒音に関しては、近隣の住民の方には影響はないのかどうか、お聞きしたいと思えます。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） こちらに関しては、振動、騒音に関しては、低振動型、低騒音型という重機を使うと聞いております。工事箇所が事業用地内の中ほどになるので、周辺には大きな影響はないかと思われそうですが、大きな影響がありそうなものが想定されるものに関しては、事前に周辺に周知するよう、市のほうから求めてまいります。

○委員（吉田まさとしさん） 分かりました。ありがとうございます。近隣の住民の方に御迷惑がからないような工法でしていただけるということですので、よろしくお願いします。

それから、前回の委員会から、今回の間、ちょうど先週、情報提供いただいた東京外環プロジェクトホームページの話になってしまうんですが、多分いまだ閉鎖中だと思うんです。1点だけ、この中でメールアドレス700件が流出した可能性がある。これって、メールアドレスの取得の目的というのがどういうものだったのか、もし教えていただければ、聞きたいと思えます。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） メールアドレスの取得の目的といたしましては、このホームページの中でメールマガジンというものを発信しておりまして、このメールマガジンにおいて、外環のホームページが更新された場合に、メールで知らせるというような流れになっておると聞いております。

以上です。

○委員（吉田まさとしさん） 分かりました。ありがとうございます。1週間程度ですので、被害とか、迷惑メールとかが届いているという情報はまだ入っていらっやらないでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） そういった被害があったのは聞いておりません。

○委員（佐々木かずよさん） よろしく申し上げます。ちょっと伺いたいんですけど、資料1の4番のオープンハウス等の開催についてで、(2)の9月4日、5日で説明会を行っていただいているんですけど、この来場者数が4日が9名で、5日が101名ということで、5日がかかなり多いというのは、これは現場を視察する会だから多かったという認識でよろしいでしょうか。

[速報版]

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） おっしゃるとおりです。現場視察会に参加する方が、前後にオープンハウスに参加することが多かったので、このような人数の配分になっておるかと思います。

○委員（佐々木かずよさん） となると、やはり現場観察だと、すごく多くの方が来てくださるということがこの数で分かると思います。例えばただパネルの展示の説明会よりも、現場を見れるという会だと、これだけの人数の開きがあるというのを見ると、それを回数を増やして、地域の方に多く知っていただくというふうにお考えになるというのはないのかなというふうに伺ってよろしいでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） おっしゃるとおりで、現場視察会、毎回、今回も89名参加者がいらっしゃって、それに対して約120人の応募があったぐらいで、毎回人気のものになっております。市としても以前も要望したんですが、もっと現場視察会を増やしていただくように、引き続き要望していきたいと思います。

○委員（佐々木かずよさん） 目で実際見ると、また感じ方も違うと思うので、できれば要望していただきたいと思います。

この周知の方法なんですけれども、資料1の2ページ目の(3)の周知の方法、ポスティングってあるんですけど、このポスティングというのは、どのくらいの範囲の方にポスティングを。地域的には、北野だけのポスティングなのか、それとも、少し広げて周辺にされたのか、地域を教えていただければと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） ポスティングの周知範囲といたしましては、本線トンネル工事から、東西、横にといいますか、約100メートルの範囲で、縦断に関しましては、三鷹市と武蔵野市境ぐらゐまで配っていると。中央ジャンクションがそのぐらゐあるので、北側に関しては市境ぐらゐまで配っておりまして、南側に関しては調布市の京王線ぐらゐまで、あの辺ぐらゐまで配っていると聞いております。

○委員（佐々木かずよさん） 私が見落としているのかもしれませんが、これは毎回、同じ範囲を配るというお考えですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） はい、同じ範囲で配っていると聞いております。

○委員（佐々木かずよさん） 少し変えてみるとか、そういったお考えはないんでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） おっしゃるとおり、最初の現場視察会なんかは、どこから来られているかという住所とかも記入してもらうので、その統計とかを取って、配る範囲とかを検討していくよう、こちらからも要望していきたいと思います。

○委員（佐々木かずよさん） 外環は結構多くの方に関わっているところでもありますので、たまに変えてみるとか、知らない方に知っていただくという取組も大事かと思うので、ぜひ御検討いただければと思います。

以上です。

○委員（谷口敏也さん） よろしくお願ひします。私も、この現場視察会というのは、定期的にやっていただきたいなと思っています。フェイスブックとかに、行ったと上げている方も結構いらっしゃって、行きたいという書き込みもあったりして、地域の人々の理解というのが一番大きいと思うので、その辺は要望していただきたいなと思います。

[速報版]

それと、大ギヤの件で確認なんですけど、これ、資料2の12ページの地中壁鋼材部に当たったというような形で、この地中壁鋼材部って常に埋めていっているものなんですか。それとも、ジャンクションの部分だけ。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） こちらに関しては、本線トンネルと近接する場所に関して埋めているもので、主にジャンクション内に埋めているものになっております。

○委員（谷口敏也さん） 本線工事も、40メートル、30メートルのところもやっているの。

○都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局理事（池田啓起さん） 本線工事については、間隔的にこの土留め工事の地中壁をやっていることはないです。今回は、この事業地内で、ランプシールドと本線シールドが近接して、その施工の土留めのためにこの地中壁を設置しているものでありますので、本線について、ずっと地中壁を打ちながらではないです。

○委員（谷口敏也さん） ということは、全体として見ると、そんなに地中壁があるわけじゃなくて、たまたま今回、地中壁があったところにシールドマシンがぶつかっちゃった、それで破損したというような形でいいんですかね。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） ジャンクション内に十数か所ありまして、その1か所に関して接触してしまったということになっております。

○委員（谷口敏也さん） これを今回、今までよりも少し柔らかい硬質ウレタンに替えていくということなんですか。

○都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局理事（池田啓起さん） この地中壁をランプシールドが貫通をしていく、ぶち抜いていく。ぶち抜いていく際に、鋼材であると、ぶち抜けないので、シールドマシンがぶち抜く場所だけ軟らかいウレタン製の地中壁を打つと。

なので、そのままシールドが壊しながら掘進をしていくということで、この貫通するところだけウレタン製というふうになっております。

○委員（栗原けんじさん） 初めに、ホームページの公開停止に伴う対応についてです。メールアドレスを所持している目的は、メールマガジンの発送ということで、三鷹の市民はこの700件中どのくらいあるかというのは報告があったんでしょうか。また、確実にこの事態をお知らせする必要があると思います。事業者はこのメールアドレスがある人に対してどのように報告をしているのか、教えてください。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 約700のメールアドレスに関しては、メールアドレスのみ把握している状態で、その人の住所とか、名前とかも把握していない状態となっております。

実際、今回、閲覧された可能性がある約700のメールアドレスに関しては、現状ではこのような閲覧された可能性があるという事象を報告したという状況になっております。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） このメールアドレスを持っている方に対しては、通常はメールマガジンなどを発送されているということですが、今回、閲覧されている可能性があるということは、こ

[速報版]

のメールアドレスを持っている方には通知されているのでしょうか。確実に、今回、外部からの不正なアクセスがあったということも含めて、お知らせしているのか、確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） このメールアドレスの方に対して、お知らせしたと聞いております。

○委員（栗原けんじさん） 事業者に対しての再発防止の徹底を、三鷹市としても求めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

大ギヤの損傷のことで、接触事故があったのは2022年と報告があります。そもそも、この接触事故が起こったときに、大ギヤの損傷だとか、コロだとかの損傷というのは、なぜ気づけなかったのかということを、事業者はどのように説明しているんですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 接触の際は、ベアリングではなくて、ビットとかの損傷を確認できたんですが、掘進している間にモニタリングした結果、異音とかは確認できなかったのも、その際にはベアリングの損傷は確認できなかったと聞いております。

○委員（栗原けんじさん） 当時、原因を細かく見ていけば、発生を防げたという事象だというふうに思います。今回、これ、今年の1月に異音が発生して、機械を止めて、損傷が分かったわけですけども、この間、4年間あります。4年間の中で異音などの異常というのは確認できなかったんでしょうか。

また、徐々にというふうに言っていますが、異音が発生したのは1月で、4年間です。この損傷のメカニズムというのは、詳細に確認されているのか、現状もさらなる調査がされているのか、破損の問題についての調査というのは終わっているのか、現状を教えてください。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） まず2022年4月に接触してからというお話で、それまで、今回の1月までは異音がなかったと聞いております。それと、異音がなく、実際構築されたトンネルだったり、地表面に影響がなかったということで、それまで気づけなかったと聞いております。

ただ、今回、異音が発生してから、改めまして施工データ、掘進履歴を確認した結果、当時の接触したときに異常なデータが確認できたと聞いております。

○委員（栗原けんじさん） 事業者は今も原因究明を続けているんですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 今回の大ギヤに変状が発生した大泉側（南行き）に関しては、調査は完了しております。

○委員（栗原けんじさん） 調査は完了しているということで、その損傷のメカニズムというのは、かなり広範囲、周囲全体に、コロも、ベアリングの部分が破損しているということが報告されて、異音が発生したときに一気に壊れてしまったのか、それとも、この説明のように徐々になのか、詳細な説明がされていません。説明会の意見交換会の場でも、原因の究明は十分ではないんじゃないかと、もっと徹底してほしいという声が寄せられています。

市としても、この現状、事業者からの説明を受けて、徹底した原因究明をしていただきたいということを伝える必要があると思いますけども、市としてはどのように対応されているのか、確認したいと思います。

○都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局理事（池田啓起さん） 原因究明につきましては、市も事業者に対して強く説

[速報版]

明を求めてきました。その中で、やはり事業者からは、損傷メカニズムについて、先ほど御説明した内容の説明しかありません。衝突した際に、スラストベアリングの微細な欠けが生じて、それがこの間、掘進でカッターヘッドと一緒に回っている間に、それが回り回って、この４年間で大きな損傷になって、今回、異音につながったと。その間は、異音はなかった、確認できなかったというふうに聞いております。

トンネル施工等委員会にも、そういった報告で、こちらの市側にもそういった説明がありましたので、それ以上の原因追究については求めておりません。ただ、これまでの本線に対する再発防止対策等については、きちっと説明はあったんですが、今回のこの設備系の再発防止については、例えば日常的な配慮確認による技術確認であるとか、月１回の定期確認を行い、油を差していくとか、そういった説明はありました。しかし、それに対して、月１回のメンテナンスや、また、再発防止に対するマニュアルを作ったとか、マニュアルを作りますとかいう答えはまだ来ておりませんので、市としては再発防止に向けて、そうした対応の仕方を事業者には求めていきたいというふうに、引き続き求めていきたいと考えております。

○委員（栗原けんじさん） 今回のこの大ギヤの損傷なんですけども、４年間かかっています。徐々に破損したんじゃないかということが推定されるという報告ですけれども、異音が発生したのは、今年の１月だと。この間、なぜ気づかなかったのか。大規模に壊れている、破損している、ここにもベアリングがぐちゃぐちゃになるような写真がありますけども。状況をなぜ気づけなかったのか。異音が発生した今年の中で、一気に破損したのか、そこの究明が明確にされていない。

それは、安全に工事をする責務がある事業者としては、４年間、気づけなかったことというのは大きな問題だと思います。徹底した究明をしなければならないというふうに思います。原因が４年前、2022年の鋼材にぶつかったということですけど、鋼材のような異物、硬度が高いものとぶつかったときには、ギヤの破損にもつながることがあり得るということを、今回の事故は示しています。

他のランプシールドマシン工事、三鷹でも行われていると思いますけれども、ほかのシールドマシンに対しての安全点検というのは、今回の事象を通じて点検されているのか、また、改めてその対策なども必要かと思いますが、どのようにされているのか、事業者から説明を受けているのか聞きたいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 現在、三鷹市ではＢランプシールドマシンとＦランプシールドマシンが掘進中なんですが、この両ランプシールドに関しましては、まずギヤに点検窓がありまして、点検窓から目視で確認できる範囲を確認するとともに、先ほど、今回の事象が発生した大泉側と同様に、まず土の中に金属片とか、コンクリート片がないかを確認すること。あと、実際、ギヤを動かしている潤滑剤という油なんですけど、その中に、また同じコンクリート片、金属片がないかどうかを確認する。こちらの確認を月１回すると聞いております。また、掘進履歴に関しても、定期的に確認すると聞いております。

○委員（栗原けんじさん） そうすると、現状、三鷹市で進められているランプシールドトンネルのシールドマシン工事においては異常がないということでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 三鷹市のマシンに関しては、まず掘進履歴から、想定外のものと接触したという可能性はないと聞いております。さらに、実際、土の中、油の中を

[速報版]

確認したところ、金属片、コンクリート片とかも確認できていないので、現状、通常どおり掘進できていると聞いております。

○委員（栗原けんじさん） 今回の大ギヤの損傷で、異音がするまでは分からないという状況があって、ベアリングの部分は密閉部分なので、その潤滑油の確認をするという頻度を高めたという説明は、市民説明会でもありました。

現状、４年間気づかなかったことに対しての対策を求めていく必要があると思います。まず、ほかのシールドマシンの安全性を確保するという点でも、今回の教訓を生かさないといけないと思います。その点で、市としてはどのような対応を考えているのか、もう一度確認したいと思います。

○都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局理事（池田啓起さん） 特に三鷹市内で今掘進をしています、Ｂ・Ｆランプにつきましては、徹底したモニタリングを行うようにも要請していますし、今後も、そうしたモニタリングに加えて、点検窓からの目視での確認であるとか、そういった可能な点検については、しっかり行うように、事業者には求めています。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） それで、三鷹のシールドマシンの工事の状況ですけれども、工事に伴っての被害、騒音だとか、振動だとか、体調の不良なども含めた申出はあったのか、確認したいと思います。どのような対応をされているのかも含めて、お願いします。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 三鷹市内のシールド工事、Ｂランプシールドになるんですが、時期としては６月頃に、とんとんという振動のお問合せが約１０件から１５件ぐらいあったと聞いております。まず、事業者として対応といたしましては、マシンに潤滑剤を注入して、掘進を滑らかにすると、掘進速度を調整したと聞いております。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） 現状、そういう事象に対しての改善をされたということではないんですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） こちらの対応したのは６月頃でございまして、７月以降は、振動、騒音に対する問合せは、現時点ではないと聞いております。

○委員（栗原けんじさん） Ｆも、Ｂも、あと少し、数百メートル、３分の２、ほぼ完成、進んでいるかと思うんですけども、現状、ランプシールドＦとＢの進捗状況というのは、１日どのぐらい進んでいるのかというのを確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） Ｂランプシールドマシン、Ｆランプシールドマシン、共に大体１日当たり約３メートルから５メートルぐらいと聞いております。進捗といたしましては、Ｂのほうが１,０８０メートル掘進するんですが、そのうち今現状、約１,０００メートルぐらい掘進が終わっている。約９割終わっている状態になります。Ｆランプに関しては、７２０メートル掘進するんですが、現状、約４５０メートルぐらい、約６割ぐらい掘進をした状況になっております。

以上になります。

○委員（栗原けんじさん） 引き続き、地中拡幅部までの掘進ですけれども、地域住民に対しての声にしっかりと耳を傾ける体制を強化するように、事業者に伝えていただきたいというふうに思います。

[速報版]

併せて、現地の調査について、本線シールドトンネルで、地下室や井戸に対しての酸素濃度の調査をしていなかったということで、報告がありました。三鷹市における、このような地下室や井戸に対しての対応というのは、ランプシールドトンネルにおいてはされるのでしょうか。

また、これから、調布では止まっていますが、今後、三鷹市域に入っていくときには、このような調査が当然行われると思います。どのような時期に行われるのか、現状、日程が決まっているのか、確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） まず、酸素濃度調査に関しては、工事に伴い家屋調査というのを行っております。工事が来る前と、工事の後で行うんですが、家屋調査を行ったときに、そこで地下室とか井戸があることが確認できまして、中で地下室がある方に関して、御希望の方に酸素濃度調査を行っている状況になっております。三鷹市内においても、同じような流れで行っている状態になっております。

また、今現状、本線が止まっておるんですが、それに対して三鷹市内、いつ家屋調査をするかというのは、まだ事業者のほうでは予定等は聞いていない状態でございます。

○委員（栗原けんじさん） 将来、掘進が再開されれば、当然、調査されなければならない場所は三鷹市でもあるということではないのか。今回、調査をしないで、お知らせをせずに通過してしまったということでの原因究明と、再発防止、三鷹でそういうことのないように、確実な住民への周知が必要だと思います。防止対策なども含めて、今回のことに対して事業者からどのような説明があったのか、確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 今回の杉並区で起きた事象に関しては、事業者のほうは通過はしてしまったんですが、実際、酸素濃度調査をする対象だった方には、御意向を聞いて、酸素濃度調査をすると聞いております。

再発防止といたしましては、調査に係る手続を徹底することで、再発防止につなげていくと聞いております。

○委員（栗原けんじさん） 意向調査をしないと、事前が調査できないわけですね。知らされずに通過してしまったと。通過した後に、調査は事後の調査しかできない状況に今置かれています。通過前に、確実にその業務をするということが求められているのに対して、今回、やりたいなど。再発防止を、三鷹でこのようなことが起こらないように徹底していただくよう、市からも申入れをしていただきたいと思います。

最後に、全体像なんですけれども、市民説明会、意見交換会の中でも、今の事業がどのくらい進んでいるのかというのが、なかなかつかめない状況になっています。また、報告を受けても、それぞれの箇所での進捗状況も明確にはなりません。市として、全体の中での進捗状況などを、事業者から市民に対して分かりやすくお知らせするように働きかけていただきたいと思うんですが、現状、事業者からどの程度進んでいるのか、三鷹市として把握している点を教えてください。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 資料といたしましては、参考資料2の2ページになります。一応、こちらはオープンハウスの資料。オープンハウスでは、こういった資料がパネルとして展示されるんですが、市のほうも全体像、進捗を確認しているんですが、事業者のほうは、はっきりとは。まだ未定になっている状態で、こちらに関しては、引き続き、市としても全体の進捗等を事業者のほうに要望していきたいと思っております。

[速報版]

以上になります。

○委員（栗原けんじさん） この図はなかなか複雑な地下構造のものなので、どの程度この工事が進んでいるのかというのを分かりやすく説明するということは、事業者に求めていただきたいというふうに思います。

最後に、換気塔の件なんですけど、これ、別紙2の5番、換気塔の地中連壁工の壁打ち、くい打ちがされるということですけども、この図でいうと、換気塔のマークが青いところからは出ています。将来的には、この換気塔の排煙塔というのは、この青い区画の中に含まれるということでもいいんでしょうか。それはまだ未定ということでもいいんでしょうか、台形の。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） おっしゃるとおり、今回、こちらの範囲に先ほど御説明した全長270メートルのコンクリートの壁を造るという計画になっておりまして、そのコンクリートの壁の中に換気所が構築されるという計画になっております。

○委員（栗原けんじさん） この枠の中に施設が入って、16メートルほどの換気塔がここの中に造られるという現状認識でいいということで、よろしいですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） こちらの箇所の周辺に、約15メートルの換気所が造られる計画になっております。

○委員（栗原けんじさん） 分かりました。今回、引き続きランプシールドトンネル工事が新川と中原で進んでいるので、異常がないことを願っていますけれども、変化に対しては適切な対応をしていただけるように、事業者により徹底していただきたいというふうに思います。

よろしくお願いします。

○委員長（加藤こうじさん） 以上で行政報告を終了いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 休憩いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 委員会を再開いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 議会閉会中継続審査の申出について、本件を議題といたします。

東京外郭環状道路建設問題について調査検討し、対策を講ずること。本件については、引き続き調査を行っていくということで、議会閉会中の継続審査を申し出ることにはいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

○委員長（加藤こうじさん） 次回委員会の日程について、本件を議題といたします。

次回委員会の日程については、次回定例会会期中とし、その間必要があれば正副委員長に御一任いただくことにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

○委員長（加藤こうじさん） それでは、その他、特にないようですので、本日はこれをもって散会いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。